

公益財団法人セゾン文化財団

〈現代演劇・舞踊対象〉公募プログラム

2027.4-2028.3に実施される活動・事業対象

募 集 要 項

2 0 2 7

公益財団法人セゾン文化財団について

セゾン文化財団は堤清二(1927-2013)の私財によって設立された助成型財団です。1987年より日本の現代演劇・舞踊の振興およびその国際交流の促進に寄与するため、助成活動を行っています。当財団は以下の基本方針をもって支援活動を展開しています。

創造活動への支援

- 個々の公演ではなく、創造のプロセスを総合的にサポートしています。
- 新しい表現の探求と活動のステップアップに支援の重点を置いています。

長期的視点に立った継続的な支援

- 単発ではない、複数年にわたる助成を原則としています。
- 助成先との緊密なパートナーシップにもとづいた支援活動を志向しています。

資金のみではない複合的な支援

- 創造活動や学び合いのための「場」や「情報・ノウハウ」を提供しています。
- 新しい出会いや対話、ネットワークのための「機会」を提供しています。

当財団が所有・運営する森下スタジオは稽古専用施設です。稽古以外にも、ワークショップ、レクチャー、シンポジウムなどが行われています。

最新情報については、当財団のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.saison.or.jp/>

現代演劇・舞踊対象—公募プログラム概要

2027年度助成対象期間

2027年4月1日～2028年3月31日に実施される事業

森下スタジオ使用対象期間

2027年4月6日～5月31日、7月1日～12月28日および2028年1月4日～3月31日

p.2



セゾン・フェロー

現代演劇・舞踊界での活躍が期待される芸術家の創造活動を支援対象とする助成プログラム

p.3-4

申請の手順:セゾン・フェロー

p.5



サバティカル(休暇・充電)

サバティカル期間を設け、海外の文化や様々な芸術に触れることを目的とする助成プログラム

p.6



創造環境イノベーション

現代演劇・舞踊界が現在抱えている課題を明らかにし、その創造的解決を目指す取り組みに対する助成プログラム

p.7



国際プロジェクト支援

海外パートナーと共に、日本の舞台芸術の国際化を目的とする助成プログラム

p.8



次世代の芸術創造を活性化する研究助成

次世代の芸術創造を活性化する提案や、政策提言を目的にした調査、研究活動を支援する助成プログラム

p.9



海外リサーチ活動支援

現代演劇・舞踊界での活躍が期待される芸術家、制作者、舞台技術者等の国際的な活動を支援する助成プログラム

p.10-11

申請の手順:サバティカル・創造環境イノベーション・国際プロジェクト支援・次世代の芸術創造を活性化する研究助成・海外リサーチ活動支援

p.12-13

森下スタジオについて



セゾン・フェロー

現代演劇・舞踊界での活躍が期待され、劇作、演出、振付に対する優れた構想と実績をもつ芸術家の創造活動を支援対象とする助成プログラム。

セゾン・フェローⅠ

独自で斬新な発想、実験精神が認められる作品創作、活動を継続しており、次代を担うことが期待される芸術家。

- a. 日本に活動拠点を置く
- b. 2027年3月31日時点で40歳以下
- c. 過去に3作品以上の劇作、演出、振付を担っている

※採択は計3回を上限とする。

セゾン・フェローⅡ

独自で斬新な発想に基づいた活動に対する一定の評価を得ており、国際的な活躍と社会的影響力を持つことが期待される芸術家。

- a. 日本に活動拠点を置く
- b. 2027年3月31日時点で50歳以下
- c. 過去に3作品以上の劇作、演出、振付を担っている
- d. 下記、一つ以上の要件を満たすこと

当財団の助成歴がある(フライト・グラント除く)／劇作、演出、振付に対する受賞歴がある／国内外の著名なフェスティバル(メイン部門)・劇場から招聘歴がある。

助成内容:

- ・セゾン・フェローが直接かかわる舞台芸術の活動に対して助成金を交付する。
- ・希望者には公演稽古、ワークショップ開催などの場として森下スタジオ(スタジオ、ゲストルーム)を優先貸与。
- ・活動に関する情報提供。

I: 150万円／年、2年間継続

II: 250万円～300万円／年、3年間継続(1年目250万円、2年目250万円、最終年300万円)

Iの助成歴なくIIに採択された場合

II: 100万円～300万円／年、4年間継続(1年目100万円、2年目200万円、3年目200万円、最終年300万円)

※I・IIの継続の可否は毎年見直す。年度毎に申請が必要。

提出資料:

I・II共通

- ①所定の申請書(最近の主要な公演の映像資料含む)
- ②顔写真(クレジットを含む。採択された場合は、広報資料として使用)

③劇評(新聞、雑誌、ウェブサイト上での批評)*任意提出

※IIのみ、申請書にエッセイ「演劇／舞踊活動における私のビジョン」(2,000字程度)をご執筆ください。

申請書交付申し込み期間

8月1日～9月17日(締切:最終日17:00)

面談期間

8月3日～8月28日

申請書および資料提出締切

～9月24日(締切:最終日17:00)

※申請や面談の詳しい手順については3ページ以降をご参照ください。

申請の手順:セゾン・フェローI・II

以下のステップに沿ってお手続きをお願いいたします。

- ・ セゾン・フェロー以外のプログラムとの併願は可能です。
同一申請者が1つのプログラムに対して申請できるのは一件です。
- ・ 原則として、セゾン・フェローIは2年間、セゾン・フェローIIは3-4年間の助成期間です。継続の可否を毎年見直すため、年度毎の再申請が必要です。
- ・ オンライン・対面の助成説明会(任意参加)も実施予定です。
詳細は当財団ウェブサイトにてお知らせいたします。

STEP 1: 申請要件の確認

申請を希望するプログラムについて、P.2に記載の申請要件を満たしているかご確認ください。

- ▶ YES / 要件を満たしている → **STEP 2へ**
- ▶ NO / 不明な点がある → ご不明な点がある場合は、事務局へお問い合わせください。

STEP 2: 「申請書」交付申し込み

期間: 8月1日(土)～9月17日(木) 17:00

所定のフォームに必要事項(詳細はP.4に記載)を入力し、「申請書」の交付を申し込みます。

URL: <https://forms.gle/GtgnEwHWtNzxDmWEA>

※「申請書」の交付: 申請者各自でフォーム入力完了画面から申請書をダウンロードしてください。



申請面談(オンライン)について

過去3年以内に、当プログラムのための申請面談を受けましたか?

※面談履歴はご自身でご確認ください

【面談必須】

- ▶ YES【面談不要】: 面談予約は不要です。
→ **STEP 4へ**
- ▶ NO【面談必須】: 上記フォーム内の案内にしたがって面談希望日の前々日(2日前)までにご予約ください。
→ **STEP 3へ** ※初申請の方は、原則として申請面談が必須となります。

※指定の期間内で日程が合わない場合は、上記フォームの入力完了後にメールにて事務局へご相談ください。先着順のため、ご希望が多数の場合には、面談が実施できないことがあります。

STEP 3: 申請面談の実施

期間: 8月3日(月)～8月28日(金) (対象者: 面談が必須の方のみ)

面談では主に、申請者のこれまでの活動や申請内容についてお話を伺い、またご相談やご質問も受けます。

申請書類が完成する前にご予定ください。申請書に関するご質問もお受けいたします。

STEP 4: 申請書類の提出

締切: 9月24日(木) 17:00

所定のフォームから以下の書類一式を提出(アップロード)してください。フォーム内にも入力項目があるため、申請書内の記載内容を参考に、時間に余裕をもってお手続きください。

※提出フォームのURLは、交付申請後の案内をご確認ください。

- ① 所定の申請書(最近の主要な公演の映像資料含む)
- ② 顔写真(日英のクレジットを含む。採択された場合は、広報資料として使用)
- ③ 劇評(新聞、雑誌、ウェブサイト上での批評)【任意提出】

※劇評の提出について

第三者による客観的な評価(新聞・雑誌・ウェブサイト等のレビュー)を選考の参考とします。

原則として直近3年程度のもので、媒体や形式は不問。ご自身でテキスト等に整形・編集する場合は、必ず出典を明記してください。

編集可能な場合は、該当箇所を明示する、文字を読みやすい向きに調整するなど、内容が把握しやすい形でご提出ください。

申請後の情報更新について

提出後に進捗が生じた場合は、随時事務局までお知らせください。情報の「更新」は可能ですが、「追加」は不可です。

例: 申請書に「応募中」と書いていたプログラムの参加が正式決定した。(受付可能)

例: 申請時点で予定になかったプロジェクトが、新たに決定した。(受付対象外)

申請の手順:セゾン・フェローⅠ・Ⅱ

STEP 5:結果通知

時期:2027年2月初旬頃(予定)

2026年11月以降、アドバイザー委員会からの助言を受けて候補者を選定。理事会で助成採否を決定します。採否にかかわらず全員に結果通知を郵送します。

※選考に関する問い合わせはご遠慮ください。

選考基準

独創性 申請者の活動および申請企画が独自性を有し斬新な発想が認められる。

将来性 申請者または申請事業が長期的展望を有し、その将来性が期待される。

適時性 活動への助成が申請者の今後の成長・発展にとって新たな契機となることが予想される。

影響力 演劇・舞踊の分野のみならず、他分野の芸術家の創造性への刺激、また活動/企画が広く社会的影響力をもつことが期待される。

実現性 スケジュールおよび資金の両面において計画が十分に検討されており、実現の可能性が高い。

注意事項(セゾン・フェローⅠ・Ⅱ)

- ・営利を目的とする活動は、助成の対象となりません。
- ・事業の関係者がその生命、身体等の安全を確保しつつ、事業を履行することができるよう、事故やハラスメントの防止等の必要な配慮をすること。

「申請書」交付申し込み

フォーム入力項目:セゾン・フェローⅠ・Ⅱ

- 1) 申請書交付を希望するプログラム名
- 2) 申請者名
- 3) 芸術団体名
- 4) 申請者住所
- 5) 申請者電話番号
- 6) 申請者メールアドレス
- 7) 活動分野(演劇／舞踊／パフォーマンスのいずれか1つを選択)
- 8) 生年月日
- 9) 2027年3月31日時点での年齢
- 10) 芸術家としての活動歴
 - ・過去の作品:劇作、演出、振付など創作の構想と実践をした作品の中で、直近の代表的な3作品を挙げてください。
 - ・受賞歴:賞の名前と受賞年をご記入ください。
 - ・活動予定:2026年度の主要な活動予定(作品名、会場、時期)をご記入ください。
- 11) 面談希望日時の登録(該当する方のみ)

+セゾン・フェローⅡのみ

- 12) 申請要件の選択(以下のうち該当する項目を1つ以上選択)
 - ・セゾン文化財団からの助成歴(個人または芸術団体主宰者として。フライト・グラントは除く)
 - ・受賞歴(戯曲、演出、振付に対する賞)
 - ・招聘歴(国内外の著名なフェスティバルのメイン部門/劇場から)

※これまで実施された事業報告は、当財団のウェブサイト内〈過去の事業検索〉からご参照いただけます。

<https://www.saison.or.jp/library/archive>





サバティカル(休暇・充電)

現代演劇・舞踊分野で継続的に作品を発表し、一定の評価を受けている芸術家がサバティカル(休暇・充電)期間を設け海外の文化や様々な芸術に触れてもらうことを目的としたプログラム。

対象者：

- a. 日本を拠点に劇作、演出、振付などの芸術家として10年以上の実績を有する、1か月以上の海外渡航を希望する個人
 - b. 2027年4月～2028年3月の間に、活動を振り返り、今後の展開のヒントを得たいと考える芸術家
- ※ 既に実施することが決定しているプロジェクトや研修のための渡航(公演開催地の下見や打ち合わせ)は対象外。

過去の助成対象者の体験報告は、ニュースレター〈viewpoint〉に掲載しています。

<https://www.saison.or.jp/library>

助成内容：

- ・ 120万円を上限に、渡航・滞在費用の一部に対して助成金を交付する。

提出資料：

- ① 所定の申請書（エッセイ「なぜ旅に出たいのか」A4サイズ1枚含む）
- ② 申請者の詳しい経歴（近年の実績を示す受賞歴、劇評など添付）
- ③ 計画書
- ④ 顔写真（クレジットを含む。採択された場合は、広報資料として使用）

申請書交付申し込み期間

8月1日～9月17日（締切：最終日17:00）

面談期間

9月1日～9月25日

申請書および資料提出締切

～10月1日（締切：最終日17:00）

※ 申請や面談の詳しい手順については10ページ以降をご参照ください。



創造環境イノベーション

現代演劇・舞踊界が現在抱えている課題を明らかにし、その創造的解決を目指す事業に対する助成プログラム。

※賞設立は対象外。

対象事業：

創造環境で新たに必要とされる取組み、舞台芸術の価値をより多くの人々に理解してもらうための取組みが対象。

事業で取り上げる課題は任意で広く募集するが、「舞台芸術活動と育児の両立支援」および「舞台芸術の観客拡大」を重点テーマの一つとする。

いずれも事業の目標とその実現に向けた計画が具体的で、その成果を検証できる事業を重視する。

対象事業例：

- ・プラットフォームデザインlab「舞台関係者の子育てに関するネットワーク確立のためのプロジェクト」（「舞台芸術活動と育児の両立支援」2025年度～）
- ・NPO法人智頭コミュニティ劇場「鳥取県智頭町で創造・体験・鑑賞の循環を創る試み」（2026年度～）
- ・conSept合同会社「ミュージカルネクストシーズアンドクリティクス」（2026年度～）

※新規事業が対象。賞設立、公演の実施を主目的とする事業は対象外。採択された場合は成果を公開し、普及、共有すること。

助成内容：

- ・企画予算の自己負担金を上限に、企画経費の一部に対して助成金を交付する。（100～200万円）
- ・希望者には事業の実施会場として森下スタジオを優先貸与。

※助成終了後の収支決算で余剰金が発生した場合、助成金の一部の返還を求めることがあります。

※なお、同一事業の助成は3年を上限とする。継続の可否は毎年見直す。年度毎に申請が必要。

提出資料：

- ①所定の申請書
 - ②申請者（個人または団体）の詳しい経歴
 - ③企画書
 - ④収支予算明細書
- ※本プログラムに初めて申請する団体は、以下も提出すること
- ⑤定款、寄附行為、またはこれらに準ずる規約
 - ⑥2025年度分の財務諸表または団体会計規則に基づく収支決算書

申請書交付申し込み期間

8月1日～9月17日（締切：最終日17:00）

面談期間

9月1日～9月25日

申請書および資料提出締切

～10月1日（締切：最終日17:00）

※申請や面談の詳しい手順については10ページ以降をご参照ください。



国際プロジェクト支援 International Projects Support Program

海外のパートナーとの十分な相互理解に基づき実施内容や作品が発展していくプロジェクトを重視。現代演劇・舞踊の国際化を目的とした助成プログラム。準備段階にあたる会議、シンポジウム、レクチャー、リサーチ、ワークショップから成果発表となる公演等、プロジェクトに関わる全ての段階を対象とする。

対象事業：

国際交流事業の実績を持つ個人または団体が主体となつて行う共同事業で、中心となるアーティストが固定しており、あらかじめ決定している日本と海外双方の事業パートナーが、計画性をもって複数年（継続して）作業を進展させていくこと。

※公演段階での申請は、セゾン・フェローとして助成歴がある、または過去の対象事業の継続申請のみ受け付ける。

事業展開例：

- ・ リサーチや滞在制作を経て日本公演後、海外ツアー。
- ・ 既に発表した作品をリサーチし直し、発表と複数の派生事業を実施。
- ・ 互いのレパートリーを交換し、協働による新作創作を経て、劇場公演を実施。

助成内容：

- ・ 企画予算の自己負担金を上限に、企画経費の一部に対して助成金を交付する。（80～180万円）
 - ・ 希望者には公演稽古、ワークショップなど開催の場として森下スタジオ（スタジオ、ゲストルーム）を優先貸与。
※助成終了後の収支決算で余剰金が発生した場合、助成金の一部の返還を求めることがあります。
- ※なお、同一事業の助成は3年を上限とし、計画された期間内に完結することが望ましい。継続の可否は毎年見直す。年度毎に申請が必要。

提出資料：

- ①所定の申請書
 - ②申請プロジェクト全体の企画書
 - ③申請年度（2027年度）の事業収支予算明細書
 - ④中心となる参加者の共同作業合意書、または受入団体からの招聘状（日付、条件、署名など必須）
 - ⑤エッセイ[申請者]
 - ⑥エッセイ[事業パートナー]
- ※⑤・⑥では劇作、演出、プロデュース担当等の事業の中核となる人物が、「事業の目指すところ」を具体的にご執筆ください。（各2,000字／日本語以外の原文700ワード程度には和訳を添付）

申請書交付申し込み期間

8月1日～9月17日（締切：最終日17:00）

面談期間

9月1日～9月25日

申請書および資料提出締切

～10月1日（締切：最終日17:00）

※申請や面談の詳しい手順については10ページ以降をご参照ください。



次世代の芸術創造を活性化する研究助成

次世代の芸術創造を活性化する提案や政策提言を目的にした調査研究活動を支援する助成プログラム。

対象事業：

現代演劇や舞踊界の創造を持続可能にする政策提言

現代演劇や舞踊界の持続可能性に対する問題意識を土台に、文化政策の制度や仕組みに変化を促すことを目的とする調査、研究を行い、その結果に基づいて、国や地方自治体等の公的機関や民間団体へ具体的な政策やプログラムを提言する事業。

事業で取り上げる課題は任意で広く募集するが、「舞台芸術における持続可能な労働環境やキャリア形成」を重点テーマの一つとする。

※提案や政策提言の対象は舞台芸術界、国や地方自治体等の公的機関、民間企業や財団法人・社団法人、NPO法人など、自由にご設定ください。

※国や地方自治体等公的機関の委託研究や科学研究費助成事業は対象外。ただし他の補助金や助成金との組み合わせは可。

対象者：

下記条件を満たしている個人やグループ（アーティスト、制作者、研究者等）、または芸術団体や文化機関、中間支援団体等

a. 2027年3月31日時点で原則45歳以下、日本に活動拠点を置くこと（団体で申請する場合は、研究事業の代表者が原則45歳以下）

b. 研究経過や成果等の報告をすること

※事業対象期間中に研究の成果と提案内容をとりまとめた研究レポートを提出すること。

※研究成果について、学会やシンポジウムなどでの発表、当財団のニュースレターへの執筆などを期待する。

助成内容：

- ・個人の場合、1件につき50万円を上限に、研究経費の一部に対して助成金を交付する。

- ・グループまたは団体の場合、1件につき100万円を上限に、研究経費の一部に対して助成金を交付する。

※申請者が所属する組織の間接経費、一般管理費等は助成対象外。

※助成終了後の収支決算で余剰金が発生した場合、助成金の一部の返還を求めることがあります。

提出資料：

①所定の申請書

②申請者の詳しい経歴

③研究計画書

④収支予算明細書

⑤その他、事業に関連する資料（類似研究等の実績が分かる資料）

申請書交付申し込み期間

8月1日～9月17日（締切：最終日17:00）

面談期間

9月1日～9月25日

申請書および資料提出締切

～10月1日（締切：最終日17:00）

※申請や面談の詳しい手順については10ページ以降をご参照ください。

*本プログラムは個人からの寄付を財源に2020年度からスタートしました



海外リサーチ活動支援

現代演劇・舞踊界での活躍が期待される芸術家、制作者、舞台技術者等の国際的な活動を支援する助成プログラム。

対象事業：

現代演劇・舞踊分野で次代の国際交流の重要な役割を担うと期待される芸術家、制作者、舞台技術者等の国際的な活動の活性化を目的に、海外のアーティスト・イン・レジデンスや文化機関等を拠点に行われるリサーチ活動を支援する。

海外でのリサーチ活動を通じて、海外の芸術家や芸術団体、関係者等との新しい出会いや対話、ネットワーキングなどの成果を得たいと考える活動や事業を重視する。

※リサーチのテーマや内容、手法、また活動拠点となるアーティスト・イン・レジデンスや文化機関などの設定は自由。

※当財団のウェブサイトで海外のアーティスト・イン・レジデンスの情報を掲載。

(<https://www.saison.or.jp/airinformation>)

対象者：

下記条件を満たしている個人やグループ、芸術団体

- 現代演劇・舞踊分野で日本を拠点に活動する芸術家、制作者、舞台技術者
- 海外で20日以上のリサーチ活動を希望すること
- 海外でのディスカッションや対話、リサーチに支障のない語学力があること

※グループや団体の場合は代表者が芸術家、制作者、舞台技術者であること

助成内容：

・ 個人の場合、1件につき60万円を上限に、渡航・滞在費用の一部に対して助成金を交付する。

・ グループ・団体の場合、1件につき120万円を上限に、渡航・滞在費用の一部に対して助成金を交付する。

※国際プロジェクト支援を除き、他のプログラムと併願可。

※1名で海外リサーチをする場合はグループや団体の所属の有無にかかわらず、個人でご申請ください。また、2名以上で海外リサーチをする場合はグループ・団体としてご申請ください。

※助成終了後の収支決算で余剰金が発生した場合、助成金の一部の返還を求めることがあります。

提出資料：

- ①所定の申請書
- ②リサーチ活動の計画書
- ③収支予算明細書

申請書交付申し込み期間

8月1日～9月17日(締切:最終日17:00)

申請書および資料提出締切

～10月1日(締切:最終日17:00)

※申請の詳しい手順については10ページ以降をご参照ください。

以下のステップに沿ってお手続きをお願いいたします。

- 複数のプログラムへの併願は可能です。同一申請者が1つのプログラムに対して申請できるのは一件です。
- 複数年度の継続助成を行うプログラムについても、継続の可否を毎年見直すため、年度毎の再申請が必要です（同一事業に対する継続年数上限あり。詳細は各プログラムの要項をご確認ください）。
- オンライン助成説明会（任意参加）を実施予定です。詳細は当財団ウェブサイトにてお知らせいたします。

STEP 1: 申請要件の確認

申請を希望するプログラムについて、P.5～9に記載の要項でプログラムの趣旨をご確認いただいたうえで、対象者・対象事業に該当するかをご確認ください。

- ▶ YES / 対象者・対象事業に該当する → **STEP 2**へ
- ▶ NO / 不明な点がある → ご不明な点がある場合は、事務局へお問い合わせください。

STEP 2: 「申請書」交付申し込み

期間：8月1日（土）～9月17日（木） 17:00

所定のフォームに必要事項（詳細はP.11に記載）を入力し、「申請書」の交付を申し込みます。

URL：<https://forms.gle/GtgnEwHWtNzxDmWEA>

※「申請書」の交付：申請者各自でフォーム入力完了画面から申請書をダウンロードしてください。



申請面談（オンライン）について

申請するプログラム・過去の面談履歴によって、要否が異なります。面談が必要な場合は、上記フォーム内の案内にしたがって面談希望日の前々日（2日前）までにご予約ください。

※面談履歴はご自身でご確認ください

【面談必須】

- ▶ サバティカル／創造環境イノベーション／国際プロジェクト支援へのご申請
- ▶ 研究助成へのご申請で、今回申請を予定する事業が初申請、または前回面談から3年以上経過している場合 → **STEP 3**へ

【面談不要】

- ▶ 海外リサーチ活動支援へのご申請 → **STEP 4**へ
- ※指定の期間内で日程が合わない場合は、上記フォームの入力完了後に事務局へメールにてご相談ください。先着順のため、ご希望が多数の場合には、面談が実施できないことがあります。

STEP 3: 申請面談の実施

期間：9月1日（火）～9月25日（金）（対象者：面談が必須の方のみ）

面談では主に、申請者のこれまでの活動や申請内容についてお話を伺い、またご相談やご質問も受けけます。

申請書類が完成する前にご予定ください。申請書に関するご質問もお受けいたします。

STEP 4: 申請書類の提出

締切：10月1日（木） 17:00

各プログラムの募集要項（P.5～9）に記載された「提出資料」一式（申請書、企画書、収支予算明細書など）を準備し、指定のウェブフォームから提出（アップロード）します。フォーム内にも入力項目があるため、申請書内の記載内容を参考に、時間に余裕をもってお手続きください。

※提出フォームのURLは、交付申請後の案内をご確認ください。

申請後の情報更新について

提出後に進捗が生じた場合は、随時事務局までお知らせください。

例：申請書で「調整中」と書いていた事項が確定した。

STEP 5: 結果通知

2026年11月以降、アドバイザー委員会からの助言を受けて候補者を選定。理事会で助成採否を決定後、採否にかかわらず全員に結果を通知します。

※選考に関する問い合わせはご遠慮ください。

サバティカル／国際プロジェクト支援／海外リサーチ活動支援

時期：2027年2月初旬頃（予定）

採否にかかわらず、結果通知を郵送します。

海外リサーチ活動支援

創造環境イノベーション／研究助成

時期：2026年11月下旬（書類選考結果通知・予定）

2027年2月初旬頃（最終結果通知・予定）

書類提出締切後に書類選考を実施し、11月下旬に書類選考結果を郵送で通知します。選考通過者は、当財団アドバイザー委員会においてプレゼンテーションと質疑応答を行っていただきます。詳細は通過者に連絡します。最終結果は2027年2月初旬に郵送します。

選考基準

独創性 申請者の活動および申請企画が独自性を有し斬新な発想が認められる。

将来性 申請者または申請事業が長期的展望を有し、その将来性が期待される。

適時性 活動への助成が申請者の今後の成長・発展にとって新たな契機となることが予想される。

影響力 演劇・舞踊の分野のみならず、他分野の芸術家の創造性への刺激、また活動／企画が広く社会的影響力をもつことが期待される。

実現性 スケジュールおよび資金の両面において計画が十分に検討されており、実現の可能性が高い。

注意事項：サバティカル／創造環境イノベーション／国際プロジェクト支援／研究助成／海外リサーチ活動支援

- ・ 営利を目的とする事業は、助成の対象となりません。
- ・ 地域振興を主な目的とするイベント、活動の対象が特定の観客に限られる事業は対象とならないか、選考の優先順位が低くなる可能性があります。詳しくはご相談ください。
- ・ 事業に直接必要な経費のみ対象とします。申請者が所属する組織の間接（オーバーヘッド）・管理・共通経費は対象となりません。
- ・ 事業の関係者がその生命、身体等の安全を確保しつつ、事業を履行することができるよう、事故やハラスメントの防止等の必要な配慮をすること。

「申請書」交付申し込みフォーム入力項目：サバティカル／創造環境イノベーション／国際プロジェクト支援／研究助成／海外リサーチ活動支援

- 1) 申請書交付を希望するプログラム名
- 2) 申請者名（サバティカルは本人、事業は代表する個人または団体）
- 3) 申請者住所
- 4) 申請者電話番号
- 5) 申請者メールアドレス
- 6) 申請を希望する事業概要（400字以内）
※企画名、企画内容、実施期間、開催地、会場をご記載ください。
- 7) 申請者の活動歴（申請を希望する事業に関係する活動があれば、それを含めて400字以内でご記載ください。）
- 8) 申請担当者の氏名、電話番号、メールアドレス
※申請事業の問い合わせや採択された際の連絡に対応できる方の氏名や連絡先をご記載ください。
- 9) 面談希望日時の登録（該当する方のみ）

※これまで実施された事業報告は、当財団のウェブサイト内〈過去の事業検索〉からご参照いただけます。

<https://www.saison.or.jp/library/archive>



森下スタジオ

助成が決定した個人または団体、事業のための稽古専用施設。

本館に3つのスタジオと、新館に1つのスタジオ、ゲストルーム、ラウンジが隣接しています。スタッフルーム、ロッカールーム、倉庫、シャワールーム、会議室を完備した施設です。ワークショップ、会議、レクチャー、シンポジウム等にもお使いいただけます。

利用時間

10:00～22:00(準備・片付けを含む)

※ゲストルーム利用のご利用最終日は、正午までにご退室ください。

維持費

スタジオ:8,000円(C)、2,500円(A、B、S)／1日につき

ゲストルーム:2,500円×使用日数(泊数ではありません)／1人につき

※使用日1か月前を過ぎたキャンセルについては使用料が発生します。

休館日

2027年4月1日～5日、6月1日～30日、12月29日～2028年

1月3日および臨時休館日

※森下スタジオの改修工事のため、2027年6月は本館と新館をご利用いただけません。

森下スタジオの施設概要

名称	間口	奥行	高さ	面積	仕様・設備・備品
Aスタジオ [中] 本館1階	7.5間 /13.5m	4.5間 /8.1m	13.0尺 /3.9m	33.75坪 /109.35㎡	スタジオ仕様: ・ラワン合板床、鏡、レッスンバー
Bスタジオ [中] 本館2階	7.5間 /13.5m	4.5間 /8.1m	13.0尺 /3.9m	33.75坪 /109.35㎡	各スタジオ専用設備: ・ロッカールーム、スタッフルーム
Cスタジオ [大] 本館1・2階	9.6間 /17.4m	7.6間 /13.8m	21.8尺 /6.6m	72.17坪 /238.56㎡	共通付帯設備: ・給湯室、トイレ、シャワー ・コピー、FAX(受信のみ):有料 ・飲料自動販売機 ・駐車場(事前申込制)
Sスタジオ [小] 新館1階	6.2間 /11.3m	3.8間 /6.9m	13.8尺 /4.2m	23.58坪 /77.97㎡	
ラウンジ 新館1階 Sスタジオ横	全利用者に稽古以外のフリースペースとして開放				設備・備品: ・テーブル、イス、ソファ、図書コーナー ・キッチン(事前申込制)
ゲストルーム 新館2階	ツイン(2-3名×1部屋)、シングル(1名×2部屋) ※部屋指定不可 ※長期滞在型家具付レジデンス(清掃等は各自で) ・タオル、アメニティ類なし ・調理器具、ベッドリネン有り				設備・備品: ・机、イス、ベッド ・簡易キッチン、ユニットバス ・電話(着信のみ) ・別室にランドリールーム有り

※館内はインターネット(Wi-Fi)利用可

注意事項

- ・使用責任者を定め、使用規則を厳守すること。
- ・森下スタジオは稽古専用施設のため、原則として公演は実施できません。
- ・稽古以外の目的で使用する場合、スタジオとの事前打ち合わせが必要です。
- ・各スタジオの図面や備品、貸出機材については当財団ウェブサイト内「森下スタジオ」の「施設詳細・資料」をご参照ください。

<https://www.saison.or.jp/studio>

森下スタジオ

〒135-0004 東京都江東区森下3-5-6

TEL: 03-5624-5951

受付時間: 10:00～21:00(但し、休館日を除く)

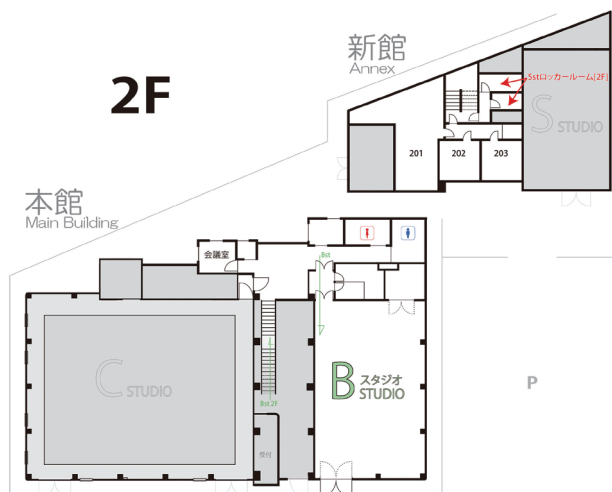
FAX: 03-5624-5950

アクセス

都営地下鉄新宿線、大江戸線「森下駅」A6出口・徒歩5分
(出口左すぐの角を左折し、直進。横断歩道を渡って突き当たり、「山豊護謨」右折すぐ)

東京メトロ半蔵門線、都営地下鉄大江戸線「清澄白河駅」A2出口・徒歩10分

館内図



全館禁煙。但し、屋外指定喫煙場所有り。

助成履歴のある方へも貸出

2027年度中の空き状況は当財団ウェブサイト内「森下スタジオ」で開示。過去の助成対象者のほか、所定の条件を満たした個人または団体のみ対象。

<https://www.saison.or.jp/studio>

募集開始

2026年8月1日(土)

「申請書」交付申し込み締切(最終日17:00)

9月17日(木)

全プログラム

(セゾン・フェロー／サバティカル／創造環境イノベーション／
研究助成／国際プロジェクト支援／海外リサーチ活動支援)

申請書類提出締切(最終日17:00)

9月24日(木)

セゾン・フェロー

10月1日(木)

サバティカル／創造環境イノベーション／国際プロジェクト
支援／研究助成／海外リサーチ活動支援

結果通知

2027年2月初旬

※創造環境イノベーション／研究助成の書類選考結果は
2026年11月下旬に通知します。

お問い合わせ

公益財団法人セゾン文化財団

〒135-0004東京都江東区森下3-5-6

TEL:03-3535-5566

FAX:03-3535-5565

受付時間:月～金/ 10:00～17:00

e-mail:apply27@saizon.or.jp

※件名を「問い合わせ」としてください。

公募情報やイベントのお知らせを当財団のウェブサイトや
X、Facebookで随時、発信しています。

<https://www.saizon.or.jp>

<https://x.com/SaizonFound>

<https://www.facebook.com/thesaizonfoundation>

寄付のお願い

当財団の趣旨に賛同し、活動を支援していただける
法人賛助会員、個人寄付を募っております。詳細につ
きましては、下記のURLからご覧いただけます。

<https://www.saizon.or.jp/support/>